

“FLOWERS” - Another Episode -

『失われた半身をもとめて』

文:志水はつみ／絵:スギナミキ

—踏み石を音もなく濡らすさまを眺めまるで春の雨のようだな、と八代譲葉は思った。

秋雨だってのに春を思うなんて、と意図してシニカルな笑みを浮かべた。父の模倣である皮肉をたたえた笑み。雨宿りをしている聖堂の軒先から灰色に濁んだ雲を眺めていると不意に数刻前、図書室で読み進めていたプラトンの『饗宴』が思い浮かんだ。

饗宴の中でも取り上げられることの多いアリストパネスの有名な演説のくだりだ。

かの吟遊詩人によれば大昔の神話世界には3種類の人間がいた。男・女という括りでなく、“男男”“男女”“女女”という3種類の人間によって成立していた、と。

だが、ある時神は彼等を全員“半分”に割ってしまった。その結果、世界は男と女だけになり、裂かれた半身を求めて我々は彷徨っているのだと。

私はこのくだりを読んだ時、ある種の思いが——

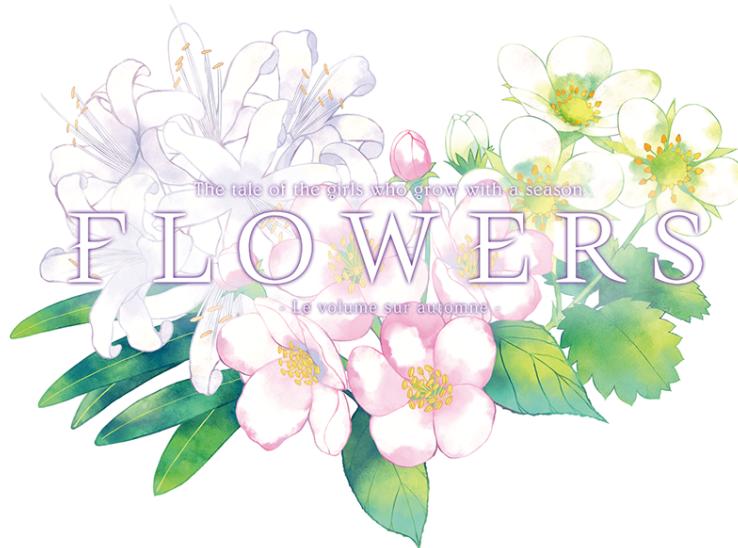
不意に視界が遮られ顔を上げる。と、美しい小麦の穂を連想させる髪、陶器のような真白い肌、美しい青磁色の瞳を持つ親友——小御門ネリネが私へと傘を差してくれていたのだ。

「遅いから心配していたのよ」告げる彼女へ「嘘だと思うかもしれないけれど」と前置きをしてから「きっとネリーが来てくれると思っていたよ」そう嘆いた。私の優しい親友は微笑みハンカチを手に取ると一步、歩を進めた。ただの一歩だが目の前に創り物のような彼女が迫り己の中の境界が危うくなる。青磁色の瞳は凝つと私を見詰め——ハンカチで濡れた額を、頬を、拭った。彼女の纏うスズランの香りがまた一步境界を危うくさせる。ああ、私は——

「早く寮へ戻ってお風呂に入りましょう。風邪をひいてしまうわ」促され、聖堂の軒先から彼女の傘へ。「僕が持つよ」親友の手から傘を取ると私たちは、音もなく降る秋時雨の中と共に行った。ネリーとともに語る他愛のない会話。彼女との語らいは胸の深い部分で、私を幸福してくれる。だが、そいつを気付かれては為らない。何故なら——

「……ねえ」不意に咎める視線を投げかけられ心にさざ波が立つ。「譲葉は上手く誤魔化していると思っているようだけれど……」そう前置きをし「私の方へばかり傘を差し出して濡れてしまっているわ」と言った。そして“こうすれば佳い”と私の腕をとり身体を寄せたのだ。

ネリーの肢体と私の身体が密着し分かち難く繋がる。そう——吟遊詩人の演説のくだりを読み強く思ったこと。《彼女は私の半身なのだと》。寮へと続く道を行きながら、私はニワトコの君へと祈る。どうか変わらぬ幸せな日常を壊さぬようにと——。



叶わぬ恋でも想い続けることができますか——

The tale of the girls who grow with a season.

FLOWERS

Le volume sur automne.



叶わぬ恋でも

想い続けることができますか——

夏を経て自分の前から去ったアミティ工を捜す決意をした白羽蘇芳。

彼女はアミティ工——匂坂マユリが消えた謎に後一步というところまで迫っていた。

“ニカイアの会の会長を引き継ぐなら君が求める鍵を与えよう”

ニカイアの会の長である八代譲葉は失った恋人の影を求める後輩へとそう告げた。

真意を知りつつも学院の謎を知る八代譲葉は、彼女に困難な要求を突きつけ諦めさせようと考えたのだ。

だが、真実を求め奔走する少女を見詰める八代譲葉も明かしては為らない秘密を抱えていた——。

秋日の聖アングレカム学院で起こる不可思議な事件の数々。

幼なじみとの祝福されぬ慕情、向けられる恋心、さまざま恋の糸が織りなし交錯する。

複雑に絡み合った真実と恋の物語が動き始める——。

【制作スタッフ】

制作＆著作：有限会社グングニル ブランド：Innocent Grey
総監督&原画：スギナミキ シナリオ：志水はつみ グラフィック：とよ
ムービー：癸乙夜 (Mju:Z) 音楽：MANYO

夏篇『FLOWERS - Le volume sur été -』のあらすじ

学院の変わり者として知られる八重垣えりかと、誰にも心を開こうとしない転入生の考崎千鳥。アミティ工となつたふたりは最初こそ反目していたが、様々な事件や出来事を共に乗り越えながら、少しずつ認め合っていく。やがてふたりは、互いをなにより大切だと思える仲に——。



一方、匂坂マユリが失踪し沈んでいた白羽蘇芳は、えりかに励まされ真相の究明を決意。学院の“謎”を知る人物を見つけて出す。その名は八代譲葉。真夜中の聖堂で譲葉を問いただす蘇芳だったが、謎を明かす条件として“ニカイアの会を引き継ぐ”という条件を提示されて……。



■製品概要

タイトル	FLOWERS -Le volume sur automne-
ブランド	Innocent Grey (イノセントグレイ)
ジャンル	百合系ミステリADV
価格	初回限定版4,800円[税別] (DVD-ROM 1枚、AudioCD 1枚)
発売日	2016年5月27日(金)
初回限定版	①特製パッケージ仕様 ②サウンドドラマCD「二人の時間」/「怪談夜話-其の四」同梱

■動作環境

対応OS	日本語版Microsoft Windows 7(SP1以降)/8/10
CPU	必須：Core2Duo 1.8GHz以上/推奨：Core2Duo 2.0GHz以上
メモリ	Windows 7(SP1以降)/8 必須：1GB/推奨：2GB以上 Windows 10 必須：2GB/推奨：4GB以上
VRAM	必須：128MB/推奨：256MB以上
必要解像度	1280×720、32bitカラー (ゲームウィンドウは1280×720の画面です)
サウンド	Direct Soundに対応したPCM音源(要DirectX 9.0c以上)

学院の自治組織・ニカイアの会を治める少女たち

ヤツシロ

ユズリハ

八代 謙葉

CV: 瑞沢渓

生徒たちから全幅の信頼を置かれている、ニカイアの会の会長。前を向いて歩き出した白羽蘇芳のことを好ましく思うと同時に、学院の謎に迫ることで彼女に害が及ばないか危惧している。そんな蘇芳に対し、謙葉はとある“交渉”を持ちかけるのだが……。

ユズリハ（ユズリハ科）

花言葉：「若返り」「世代交代」「譲渡」



小御門 ネリネ

CV: 西口有香

謙葉の親友で、ニカイアの会の副会長。常に人と触れ合ってみたいと思っているが、その現実離れした美しさのせいで距離を取られてしまうことが多い。

謙葉がなにか悩みを抱えていることに気づきつつも、打ち明けてくるまでは見守ろうと決めている。

ネリネ（ヒガンバナ科）

花言葉：「華やか」「また会う日を楽しみに」「幸せな思い出」「輝き」「忍耐」「箱入り娘」



謙葉と沙沙貴姉妹の新たな展開も――

白羽蘇芳のクラスメイトである沙沙貴と林檎。ふたりは八代謙葉と同じ料理部に所属しているものの、彼女が料理部に顔を出すことはあまりなく、未だに接点が多いとは言えない間柄。しかし今回の秋篇では、そんな双子と謙葉のエピソードも描かれてきます。しかも、これまでずっと一緒にいた草と林檎の気持ちにズレが生じるなど、姉妹間の問題も浮き彫りになることに。謙葉を軸とした3人の関係にも、ぜひご注目ください。



沙沙貴 莓

イチゴ

ササキ

CV: 長妻樹里

夏を経て少し落ち着いたものの、未だトリックスター的な立ち位置は変わらず。しかしづつ一緒に歩んだ林檎との距離は、少しづつ変わり始めることに。

莓 (バラ科)

花言葉:「尊敬と愛」



沙沙貴 林檎

リンゴ

ササキ

CV: 長妻樹里

怠け者気質は相変わらずだが、蘇芳やえりかとの話をする機会が多くなっている。姉の変化に気づき、自らもアクションを起こそうとするが……。

林檎 (バラ科)

花言葉:「名声」「選択」「評判」「選ばれた恋」



考崎 千鳥

タカサキ

チドリ

CV: 洲崎綾

ようやくクラスに打ち解けてきた転入生。様々な出来事を経てえりかと結ばれたが、彼女がなにかと蘇芳に心を砕いていることに不安を感じている。

紅千鳥 (バラ科)

花言葉:「何て愛らしい」「気品」「高潔」「忠義」



八重垣 えりか

CV: 佐倉綾音

相変わらず人付き合いはよくないが、朗読劇やバレエ発表会を境に周りから認められつつある。蘇芳の慣習に手を貸せないかと思案を巡らせるが……。

エリカ (ツツジ科)

花言葉:「孤独」「選択」「休息」「心地良い言葉」「博愛」

花菱 立花

リッカ

ハナビシ

CV: 明島ゆうり

蘇芳が前向きになったことを感じ、自分もできる限り彼女の力になろうと決意。そんな時、蘇芳にある相談を持ちかけられ、彼女は願いを聞き入れる。

ハナビシソウ (ケシ科)

花言葉:「私の希望を叶えて下さい」「私を拒絶しないで」



白羽 蘇芳

スオウ

シラハネ

CV: 名塚佳織

匂坂マユリ失踪の謎を追う中、彼女から自分に向かって「印」を探し当てる。そしてその謎を知る謙葉を問いただすが、返ってきたのは意外な言葉で……。

花蘇芳 (マメ科)

花言葉:「高貴」「質素」「不信仰」「裏切り」「疑惑」「豊かな生涯」「目覚め」

ダリア=バスキア

CV: 高城みづ

生徒たちから姉のように慕われている、学院の教師兼シスター。これまで介助を行っていたえりかが自分の手を離れたことに、少し寂しさを感じている。

ダリア (キク科)

花言葉:「移り気」「華麗」「優雅」「威厳」「不安定」

